



## 鶏外部寄生虫（ワクモ）に注意しましょう！

近年、国内の採卵鶏農場では、鶏の外部寄生虫による被害が増加しています。  
今回、小規模採卵鶏農場でワクモが大量に発生しました。

### ● 小規模採卵鶏農場でのクモの大量発生

#### ■ 概要

本年6月末、採卵鶏300羽飼養の小規模採卵鶏農場で、褐色のダニ様昆虫が多数認められました。  
しかし、飼養鶏には、全体的に肉冠の退色は認められたもののダニ様昆虫の寄生、産卵率の低下および死亡羽数の増加は認められませんでした。  
検査の結果、ダニ様昆虫は、その形態学的特徴から節足動物門蛛形綱ダニ目中気門亜目ワクモ科 *Dermanyssus gallinae*（ワクモ）と同定しました。

#### ■ 対策

ワクモの生活環や鶏卵の食品としての安全性を考慮して、

- 1) 有機リン系殺虫剤を使用
- 2) 鶏舎床面および堆積鶏糞のみに5～7日間隔での薬剤散布
- 3) 堆積鶏糞等の速やかな除去

鶏の外部寄生虫は、ニューカッスル病ウイルスをはじめとする各種疾病の媒介者となる可能性が報告されています。

本年5月から食品衛生法の改正によりポジティブリスト制が導入され、鶏卵の食品としての安全性の観点から、

- 1) 環境衛生制御資材（含水珪酸塩鉱物等）の利活用
- 2) 従事者および生産物の安全性を考慮した上での適切な殺虫剤の選択およびその使用が重要です。

ご不明な点は、城南家畜保健衛生所まで

TEL 0966-22-3814 FAX 0966-22-3617